



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月24日

上場取引所 東大

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松本 元春
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 077-537-1700
 平成24年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	151,349	△17.9	16,797	△64.7	14,916	△67.4	4,601	△81.5
24年3月期第2四半期	184,373	△9.4	47,556	△34.8	45,741	△35.9	24,889	△41.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 6,632百万円 (△72.7%) 24年3月期第2四半期 24,334百万円 (△41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.25	—
24年3月期第2四半期	50.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	673,232	478,365	70.2
24年3月期	687,069	475,736	68.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 472,378百万円 24年3月期 470,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	220,000 ～230,000	△16.9 ～△13.2	22,000 ～27,000	△62.8 ～△54.3	19,000 ～24,000	△65.1 ～△55.9	7,000 ～10,000	△74.5 ～△63.6	14.07 ～20.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	497,616,234 株	24年3月期	497,616,234 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	205,991 株	24年3月期	206,939 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	497,410,188 株	24年3月期2Q	497,431,096 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、10月25日に当社ホームページ(URL <http://www.neg.co.jp/>)にて開示します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第2四半期累計期間]

①概況

欧州債務危機が長引き、域内景気はもとより、中国をはじめ新興国の欧州向け輸出にも深刻な影響を及ぼしました。加えて、中国では内需が鈍化し、米国でも景気回復のペースが緩慢なものにとどまるなど、世界経済は減速感が強まりました。国内経済も、震災からの復興需要やエコカー補助金などによる景気の下支え効果はあったものの、世界景気の減速や円高を背景に輸出が減少し、個人消費も伸び悩むなど、厳しい状況が続きました。

このような中、当第2四半期連結累計期間においては、主力の液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスの販売が、需要の回復に伴い緩やかに復調したほか、生産性の向上や費用の削減などによりコスト改善が進みました。この結果、業績は前年同期を下回ったものの、第1四半期（平成24年4月1日～6月30日）から第2四半期（平成24年7月1日～9月30日）にかけて回復軌道をたどりました。

②経営成績

	前第2四半期累計期間 (23/4～23/9) (億円)	当第2四半期累計期間 (24/4～24/9) (億円)	増減 (%)
売上高	1,843	1,513	△18
営業利益	475	167	△65
経常利益	457	149	△67
純利益	248	46	△82

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第2四半期累計期間 (23/4～23/9)		当第2四半期累計期間 (24/4～24/9)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	1,495	81	1,201	79	△293	△20
	その他用ガラス	348	19	311	21	△36	△10
合計		1,843	100	1,513	100	△330	△18

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスの販売は緩やかな回復を示したものの、プラズマディスプレイ用基板ガラスでは需要低迷により厳しい状況が続きました。光関連ガラスはスマートフォンの普及に伴う通信インフラ需要を背景に堅調に推移し、イメージセンサ用カバーガラスについてはデジタル一眼カメラ向けなどの出荷が増加しました。

・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売は主力の自動車部品向けが年初より回復基調で推移したものの、夏場以降、減速に転じました。耐熱・建築・その他の事業では、関連市場の回復の遅れなどにより販売は低迷しました。

(損益面)

前年同期と比較し大幅な減益となりましたが、LCD用基板ガラスを中心に販売が回復したことに加え、生産性の向上や稼働率の上昇、費用削減効果などにより、損益は第1四半期から第2四半期にかけて緩やかな回復基調を示しました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

	24年3月期 第3四半期累計期間 (23/4～23/12) (億円)	25年3月期 第3四半期累計期間 (24/4～24/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,648	2,200～2,300	△17～△13
営業利益	591	220～270	△63～△54
経常利益	544	190～240	△65～△56
純利益	274	70～100	△75～△64

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

欧州債務危機の長期化や米国財政問題の先行き不安などを背景とした世界景気の減速、中国との外交問題の長期化に伴う日中経済への影響など、企業を取り巻く事業環境は今後も予断を許さぬ状況が続くものと予想しています。

このような厳しい環境下にあつて、第3四半期(平成24年10月1日～12月31日)は、電子・情報用ガラスでは、主力のLCD用基板ガラスの需要がスマートフォンやタブレットの普及拡大を背景に底堅く推移することを期待していますが、TV用途を含めると、堅調であった第2四半期からは年末にかけて弱含むものと見込んでいます。その他用ガラスでは、ガラスファイバは自動車部品向けの市場の調整が続くものと見られ、耐熱・建築・その他の事業も、低調な状況が続くものと予想しています。損益面では、価格の動向やLCD用基板ガラスの新材質の立上げコストなどが収益に影響を与えることが懸念されますが、費用の圧縮や生産性の改善に努め、利益の確保に全力を上げていく所存です。

第2四半期累計期間の業績に上記見込みを加えた第3四半期累計期間の連結業績予想は、上表のとおり前年同期実績を下回る見込みです。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するため、以下の要領で当期業績見込みをお知らせします。

予定時期	当期業績見込み(累計ベース)(数値開示)
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益は166百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ167百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,827	104,381
受取手形及び売掛金	56,230	63,146
商品及び製品	29,830	27,894
仕掛品	2,170	2,619
原材料及び貯蔵品	20,905	18,878
その他	9,555	9,338
貸倒引当金	△103	△100
流動資産合計	224,415	226,158
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	328,541	319,028
その他（純額）	91,769	89,422
有形固定資産合計	420,311	408,451
無形固定資産		
投資その他の資産	1,458	1,358
その他	40,930	37,311
貸倒引当金	△45	△47
投資その他の資産合計	40,884	37,264
固定資産合計	462,654	447,073
資産合計	687,069	673,232
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,208	40,549
短期借入金	43,398	23,597
未払法人税等	2,005	6,802
その他の引当金	131	64
その他	48,455	31,566
流動負債合計	135,199	102,580
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	20,413	18,234
特別修繕引当金	33,430	31,910
その他の引当金	1,487	865
その他	801	1,275
固定負債合計	76,133	92,286
負債合計	211,333	194,866

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,355	34,353
利益剰余金	415,799	416,397
自己株式	△274	△271
株主資本合計	482,037	482,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	824	1,471
繰延ヘッジ損益	△5	△79
為替換算調整勘定	△12,572	△11,649
その他の包括利益累計額合計	△11,753	△10,257
少数株主持分	5,452	5,987
純資産合計	475,736	478,365
負債純資産合計	687,069	673,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	184,373	151,349
売上原価	122,732	121,247
売上総利益	61,640	30,101
販売費及び一般管理費	14,084	13,304
営業利益	47,556	16,797
営業外収益		
受取利息	74	58
受取配当金	262	289
その他	596	505
営業外収益合計	933	853
営業外費用		
支払利息	488	395
為替差損	70	613
固定資産除却損	874	394
休止固定資産減価償却費	493	853
その他	822	478
営業外費用合計	2,749	2,735
経常利益	45,741	14,916
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	687	1,602
投資有価証券売却益	1,478	—
特別利益合計	2,166	1,602
特別損失		
固定資産除却損	829	705
投資有価証券評価損	—	4,074
競争法関連引当金繰入額	5,000	—
その他	746	1,167
特別損失合計	6,575	5,947
税金等調整前四半期純利益	41,331	10,570
法人税等	15,769	5,438
少数株主損益調整前四半期純利益	25,562	5,131
少数株主利益	672	530
四半期純利益	24,889	4,601

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,562	5,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,544	646
繰延ヘッジ損益	8	△73
為替換算調整勘定	308	927
その他の包括利益合計	△1,227	1,501
四半期包括利益	24,334	6,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,664	6,097
少数株主に係る四半期包括利益	670	535

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,331	10,570
減価償却費	25,078	22,453
売上債権の増減額(△は増加)	△1,090	△6,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,128	3,703
仕入債務の増減額(△は減少)	1,083	△9,285
法人税等の支払額	△15,214	△908
その他	7,488	6,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,548	26,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△52,080	△22,128
投資有価証券の取得による支出	△7,432	△1,198
投資有価証券の売却による収入	4,911	1,094
その他	△80	△2,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,682	△24,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△2,255	△22,178
社債の発行による収入	—	20,000
配当金の支払額	△3,481	△3,977
その他	△58	135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,494	△6,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,580	△3,769
現金及び現金同等物の期首残高	116,366	105,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,785	101,440

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。